



▲宿泊所開設は近隣住民の理解を（市外にて）

# 生活困難者を収容する 宿泊所への対応どうする

平野 泰雄 議員

議員 昨年7月に  
出された国の「無  
料低額宿泊所の設  
備、運営等に関す  
る指針」を受けて、  
市及び県はどのよ  
うな対応をしてき  
たか。

福祉部長 指針は、  
ホームレスの人権  
擁護の立場に立つ  
て、宿泊所の設備  
や運営の基準を示  
したもので、原則  
個室化など、プラ  
イバシー保護の環境整備や  
生活相談などによる自立支  
援などを主な内容としてい  
ます。

また、施設を開設する  
ときは、県に事前相談を行う  
とともに、市にも施設の利  
用方法等について協議し、  
近隣住民の理解も得るよう  
努めることとされました。

県は、昨年7月以降、国  
の指針や県独自のガイドラ  
インを満たしていなければ、  
届け出を受理しない方針を  
とっています。

既存施設については調査  
を行い、環境改善を働きか  
けることになっており、こ

の2月には市も同行して、  
市内施設を調査しました。  
市としては、完全個室化  
など環境改善の指導強化と、  
生活保護に係る住宅扶助の  
額について、県独自基準を  
設けるよう県に対して要望  
しているほか、施設での生  
活保護受給者の費用を、国  
と県で負担することについ  
ても県知事に要請すべく、  
県南5市まちづくり協議会  
で検討しています。

住民とのトラブルを避ける  
ために市でも指導要綱を

議員 ホームレス宿泊所の  
開設を巡って、各地でトラ  
ブルが起きている。これを  
避けるためにも、早急に市  
独自で指導要綱等を制定し  
てはどうか。

福祉部長 住民との紛争を  
未然に防止し、地域の良好  
な環境を維持するとともに、  
併せて宿泊所入所者の適正  
な福祉を確保し、自立支援  
を助長することを目的とし  
て、本市独自の要綱と指針  
を制定すべく検討中であり、  
できれば5月には制定した  
いと考えています。

# マナーや道徳を条例化せよ

遠藤 英樹 議員

議員 失われつつあるマナ  
ーや道徳について、私は戦  
後の教育に道徳が不在だっ  
たことに責任があると考え  
るが、差し当たって現在の  
状況を打開するために、こ  
れらを条例化し、強制力の  
あるルールとして守らせる  
ことが必要であると考え  
ます。

マナーを守らない人間に  
対し、心ある人間が抵抗を  
恐れて何もできないような  
社会は黙認できない。一点  
目として戸田市における暴  
走族の状況等はどうか。

市民生活部長 市内には暴

走族は存在せず、その被害  
の届出もありません。しか  
し、今後も青少年の健全育  
成の観点からも、引き続き  
取り締まっていきたいと考  
えております。

議員 次に同じ喫煙とし  
て、公衆における喫煙マナ  
ーの悪い人間は許せない。  
駅等混雑する場所での歩き  
タバコ等を禁止するなどの  
条例を作る考えはあるか。

また埼玉県で制定されて  
いる、公衆に著しく迷惑を  
かける暴力的な行為の防  
止に関する条例のように、  
マナー全般を規定した本市  
独自の条例を制定する考え  
はあるか。戸田

競争を有する本  
市としては、周  
辺対策の観点か  
らも十分検討に  
値すると思え  
るかどうか。

市民生活部長  
千代田区のいわ  
ゆる歩きタバコ  
禁止条例等は、  
大規模なキャン  
ペーン活動で効  
果を上げていま



▲もし、子どもの目にでもあたらしたら…

す。本市としても、環境美  
化やイメージアップのため  
にも有効な施策として、今  
後検討してまいります。

また、マナーや道徳を全  
般的に規定する条例につい  
ても、暴走族や歩きタバコ  
への対策と併せて、まずは  
今後、庁内の検討委員会を  
経て、懇話会等の設置を目  
指していきたいと考えてお  
ります。

議員 様々な考えがあると  
いう点を重視しすぎると何  
もできない。幅広い意見を  
集約して、自信を持って取  
り組んでいきたい。

## 特別委員会

# 行政視察レポート

交通環境対策特別委員会と、ま  
ちづくり特別委員会では、1月に  
先進地の行政視察を行いました。  
以下は、2月臨時会初日に報告さ  
れた、委員長報告の概要です。

## 交通環境対策



生活環境づくりの機運、小  
倉駅ビル建て替え計画、駅  
前バス停の集中化等、ハー  
ド・ソフト面の課題が山積  
していたことを背景に、平  
成9年度に交通体系の総合  
的な検討に着手したのがパ  
リアフリー化事業への始ま  
りです。

11年度には、JR小倉駅、  
モノレール駅、バスターミ  
ナル、公共連絡通路、南北  
ベドストリアンデッキなど  
が一体となり、駅周辺の建  
物や歩道とも連絡するパ  
リアフリーの総合的な交通環  
境が整備されました。これ  
が起爆剤となって、駅から  
1km四方、約150haに及  
ぶパリアフリー化を進める  
ことになりました。

地区内ワークショップを  
初め、障害のある方や高齢  
の方たち、商店主、道路占  
用者、公共交通機関、道路

### 福岡県北九州市

### 小倉都心地区の交通 バリアフリー事業を視察

政令市の中で最も高齢化  
が進んでおり、百万都市の  
顔づくり、障害者に対する

## まちづくり



管理者などによるバリアフ  
リー点検や実態調査で指摘  
された問題点250カ所を  
踏まえ、平成10年12月に小  
倉都心地区バリアフリーま  
ちづくり推進計画が策定さ  
れました。

当時は、国の交通バリア  
フリー法が整備されていな  
い段階での事業で、後々に  
は国の基本構想へ影響を与  
えたものと自負している  
こととです。当日は降雪の  
中、現地を案内いただき、  
数々の特徴ある取り組みを  
見ることができました。

## 議員研修会が行われる

### サッチャー元英国首相に学ぶ リーダー像とは

毎年、全議員を対象に、政治や経済など各界から  
講師を招いて、見識を広げるために研修会を開催して  
います。

平成15年度は、2月18日(水)に、国際経営コンサル  
タントの植山周一郎氏を講師に招いて、「これから  
求められるリーダー像」と題して行われました。

同氏が、サッチャー元英国首相の日本におけるマ  
ネージメントを10年間務めていたことから、素顔の  
サッチャーさんのエピソードを交えながら、政治家と  
しての必要な素養や心構えなどをわかりやすく講演  
いただきました。

特に当時低迷化していた英国を、税制改革や民営  
化に鉄の意志と実行力で取り組んだ姿勢には、議員  
としての指針や市政に大変参考となりました。



### 福岡県大野城市

### 先駆的なまちづくり の拠点整備

下大利駅東土地地区画整理事  
業の施行面積は約8・3ha、  
施行期間は平成12年度から19  
年度までを予定しています。

本事業は、市域を横断する  
西鉄天神大牟田線の連続立体  
交差化計画に合わせ、駅前地  
区にふさわしい魅力ある都市  
空間の創造に資するため、公  
共施設の整備改善及び宅地の  
利用増進を図ることを目的と

しています。

総事業費は約92億円を見  
込んでおり、大野城市では、  
できるだけ低い金利で起債を  
するために、競争入札の形で  
金融機関から見積もりを徴  
取し、また、10年という短い  
償還期間を設定していること  
です。

本事業の特性としては、

- ①事業計画・地区計画を策  
定するに当たり、まちづくり  
研究会や区画整理研究会をワ  
ークショップ形式で開催し、  
市民参加による計画立案を図  
り、計画に反映させたこと。

- ②本施行地区は保留地が確保  
されていない減価補償地区のた  
め、減価補償金相当額によ  
り、市が公共用地に充當す  
るための用地の先行取得を行  
いながら事業に着手したこと。
- ③施行地区内における公共施  
設整備の事業費について、必  
要性が認められる範囲内で国  
庫補助対象となる「ふるさと  
の顔づくりモデル事業」を導  
入することにより、良好な景  
観形成を含めたまちづくりを  
行っている。

との、詳しい説明を受けま  
した。